

令和元年6月27日

東京都知事

小池百合子殿

都議会公明党

幹事長 東村邦浩

高齢者の自動車運転の安全を確保するための
「急発進防止装置」の装着に対する緊急要望

相次ぐ高齢ドライバー事故が大きな社会問題となっています。この状況を踏まえて、都議会公明党は、代表質問において「子どもをはじめとする歩行者を守る上で必要な、安全運転をサポートする車両への補助を含め、多角的な取り組みを早期に実施すべき」と主張。これに対し小池知事は、アクセルとブレーキの踏み違いによる急発進を防ぐ装置の取り付けについて「補助の受け付け開始後一年間は、高齢者の方により早急に対応していただくために、費用の一割程度の自己負担で装着できるように、今年度の予備費での対応も含めて支援を行っていく」と表明されました。

警察庁がまとめた「平成29年における交通死亡事故の特徴について」によると、特にブレーキとアクセルの踏み違いによる死亡事故が高齢ドライバーで高い水準にあり、高齢ドライバーほど死亡事故を起こしやすい傾向にあります。こうした事態を踏まえ、子どもをはじめ歩行者を守る上で必要な、安全運転をサポートする装置の装着は、緊急の課題となっています。

つきましては、事業実施に向けて、下記の事項を強く要望します。

記

- 1 生活上、自動車が必要の移動手段となっている高齢者の方々が、安心して運転ができるよう、車の急発進防止装置の装着に対する都の補助事業を迅速に実施すること
- 2 補助対象年齢をシルバーパスの受給年齢と同様に70歳以上とすること
- 3 装置の装着にあたっては、身近なところで、スピーディに対応できるようにすること

以上